

■全体のまとめ

- ・滞在空間を実験的に創出・可視化をし、利用してもらいながら、また、沿道の景観形成を官民で実践し、将来的なイメージを可視化することで、メインストリートの将来像について様々な意見を頂くことができた。
- ・メインストリートの将来像やコンセプト、形成の方向性については概ね賛同を得た。
- ・ストリートプラントや A 型看板設置など沿道事業者に参加してもらうことができ、連携によるメインストリート形成への足掛かりにすることができた。
- ・魅力的な景観形成には、通行の安全面に資するゆとりある空間の確保に向けた検討も重要な要素である。

<今後の対応>

これらの意見を基に、ガイドライン策定につなげていくとともに、将来像の実現に向けた実践として(1)沿道事業者との切れ目のない継続した機運醸成や(2)活動や通行の安全面に資するゆとりある空間の創出に向けた取組みを検討していく。



■目的に即した検証結果

①通りとしての将来像の可視化

- ・新市民会館などの中心エリアと2駅をつなぐメインストリート。
- ・あり方を検討したワークショップでまとめた将来コンセプトを具体化し、空間のあり方について検証する。

●将来像の共有について

- ・メインコンセプトについて、来訪者の8割、沿道事業者の7割から、共感を得る結果となり、中央通り、東西通りの将来イメージについても、来訪者・沿道事業者ともに8割以上の方から、共感を得る結果となり、通りの目指す方向については、概ね支持されていると言える。
- ・滞在空間の創出や、バナーの掲出、沿道事業者の協力についても、好意的に受け止める結果が多く、概ね支持されていると言える。

⇒ メインストリートのめざすべき方向性は確認、共有できた。

●滞在空間の創出について

- ・滞在空間を可視化したものの、現地で所々休憩する様子などは見受けられたが、多様な利活用が見られなかった。
- ・東駅前公園で子ども世代が遊べる装置やカフェを導入したことで、高評価を得た。(並行して宝探しウォークイベントが実施されていたことも大きい)

⇒ 滞在空間を用意するだけでなく、そこで何かができる、楽しめるコンテンツとセットであると有効である。



東駅前公園 (子ども世代が遊べる装置)



東駅前公園 (カフェの出店)



東駅前公園 (イベント時)



おにクル北 (イベント時)

②沿道地権者等の機運醸成

- ・通りの空間づくり、安全・安心な道路の取り組みなどを持続化させるためには、沿道事業者等の積極的な関わりが重要。
- ・将来像の可視化などを通して、事業者等の関わり方、組織のあり方などについて検証する。

●沿道の機運醸成・連携について

- ・沿道店舗にストリートプラント、ポップアップフラッグやデジタルスタンプラリーなどによる参加を促したが、それを通じて沿道形成に機運が高まったとはいえない。
- ・沿道事業者向けのアンケートでは、半数強がフラッグ等の「継続の意志あり」と回答したが、活性化の取組みを話し合う場への参加については、「ぜひ参加したい」は8.0%にとどまる一方、「都合が合えば参加したい」が半数強、「参加は難しいが協力はしたい」が32.0%と、9割強の事業者は積極的とはいえない。
- ・今秋のおにクルのオープン時が、沿道で何か取り組むうえで現実的なタイミングである。

⇒ 滞在空間化のみでは沿道事業者の関与の余地も薄く、関心が高まりにくい。機運を高めるためには、別の切り口を探るとともに沿道事業者等の主体性の後押しにつながる、継続的な取組みの検討が必要である。

③歩行者・自転車の通行の啓発

- ・車道への自転車レーンの敷設などが完了したが、歩道空間での自転車との錯綜など、安全面の向上が課題。
- ・社会実験にあわせて、自転車の適正な通行などを促すサインを設置し、啓発を行う。

●歩車分離に向けた通行の啓発について

- ・「歩きにくい」と感じている方が来訪者の6割以上であり、「歩道を歩きやすくしてほしい」との意向が来訪者・沿道事業者の7割であった。
- ・社会実験実施期間中は、中央通りと東西通りの駅前及び大きな交差点部分に自転車通行の適正化を啓発する看板を設置したが、社会実験前後で比較しても、歩道上を通る自転車の状況に変化は見られず、看板による啓発だけでは交通適正化の効果は薄かった。

⇒ 通行の安全面につながる整備(ゆとりある空間の確保)の検討が必要。

調査箇所



日時

- ・2022年11月12日(土)
- ・13時台、14時台、15時台

調査方法

- ・1時間ごとに巡回してアクティビティを記録(A→B→C→Dの順に巡回)
- ・ArcGIS Survey123に以下の情報を記録
位置情報/滞留者のアクティビティ/年齢層/性別

▶14時

- ・A,B,Cでは座具利用が見られた
- ・C(東駅前公園)では宝探しイベントの参加者が座具をよく利用していた



座る、スマホ

座る、会話する(奥) 植栽を見る(手前)

電話、荷物整理

利用なし



座る、宝探しの問題を解く



座る、周りを眺める

▶15時

- ・Cは親子連れがよく利用していた(宝探しイベントの参加者)

▶13時

- ・座具の利用はあまり見られなかった
- ・社会実験の看板を見たり、チラシを手に取ったりする人が数名いた



利用なし



社会実験のチラシを見る



利用なし



座る、宝探しの問題を解く

社会実験 調査結果 ②交通量調査

社会実験前後の歩行者通行、歩行者と自転車の分離の状況を把握するために交通量調査（ビデオ撮影）を実施した。

●調査日：

【社会実験実施前】

(平日) 令和4年10月21日(金) (休日) 令和4年10月22日(土)

【社会実験期間中】

(平日) 令和4年11月18日(金) (休日) 令和4年11月19日(土)

●時間帯：7:00~9:00、11:00~13:00、17:00~19:00

●調査地点：下図の2箇所



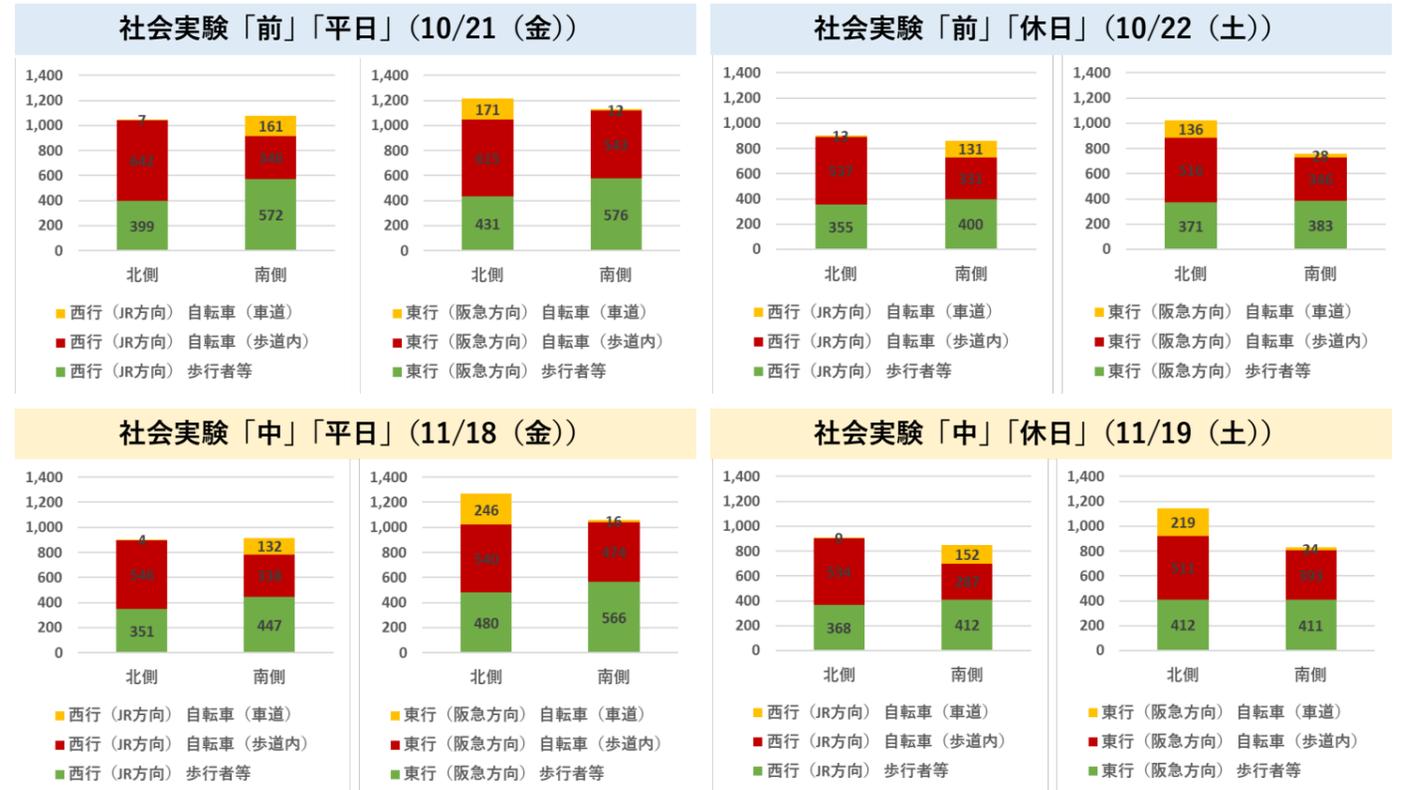
●調査内容：調査地点にビデオカメラを設置し、歩行者・自転車通行量をカウント。

<調査結果>

- 社会実験実施期間中は、中央通りと東西通りの各通りに駅前及び大きな交差点部分に自転車通行の適正化を啓発する看板を設置したが、社会実験前と比較して、歩道上を通る自転車の状況に変化は見られず、看板による啓発だけでは交通適正化の効果は薄かった。
- 中央通り、東西通りのいずれにおいても、自転車の歩道通行により、歩行者と自転車との錯綜が見られる。
- 中央通りは東行（阪急方向）の交通量が多く、とりわけ平日の自転車の通行が多い（10/21で1,341台/6時間合計）。東西通りは西行（JR方向）の交通量が多く、とりわけ自転車の通行が多い（10/21で1,156台/6時間合計）。
- 社会実験の実施状況に依らず、車道から向かって左側通行の自転車に関しては、その半数、又は半数以上が車道側を走っている状況が多く見られた。（左側通行は、北側では阪急茨木市駅側に向かったの走行、南側ではJR茨木駅側に向かったの走行）。一方、右側通行となる場合では、そのほとんどが歩道側を走行している。この傾向は中央通りと東西通りで同様であり、左側通行であれば、一定は車道の走行が可能であることが窺える。
- 中央通りの北側に関しては、車道が狭く、車道での自転車の走行が困難であることから、左側通行でも車道側を走行する人数が少ない。

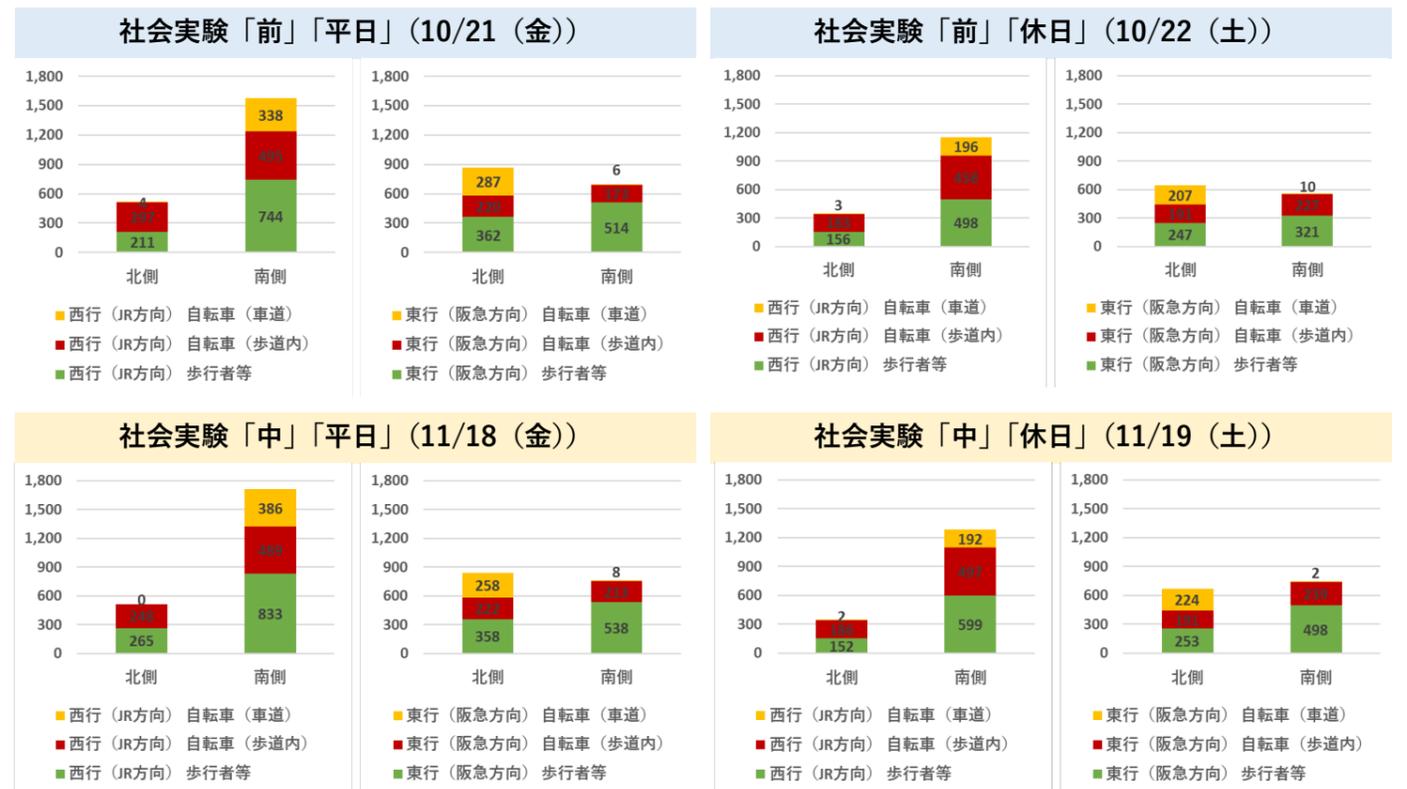
●中央通り（柏木サイクル前）

※いずれも7:00~9:00、11:00~13:00、17:00~19:00の合計値

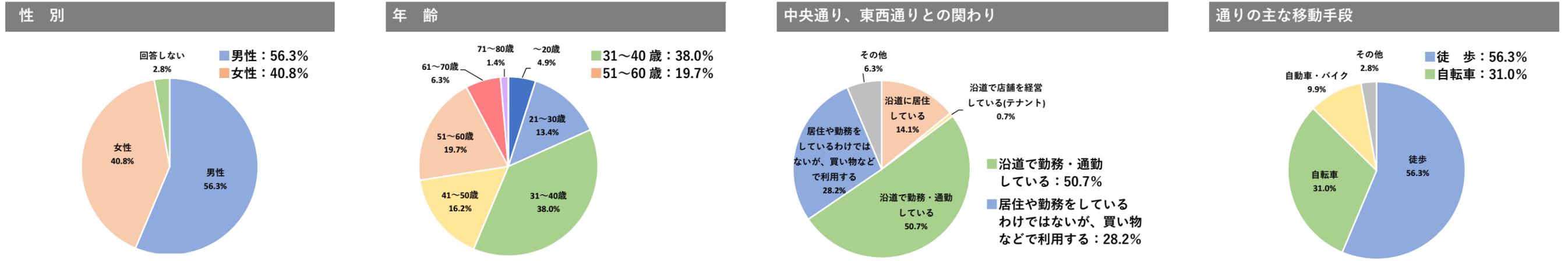


●東西通り（KIMI 美容室前）

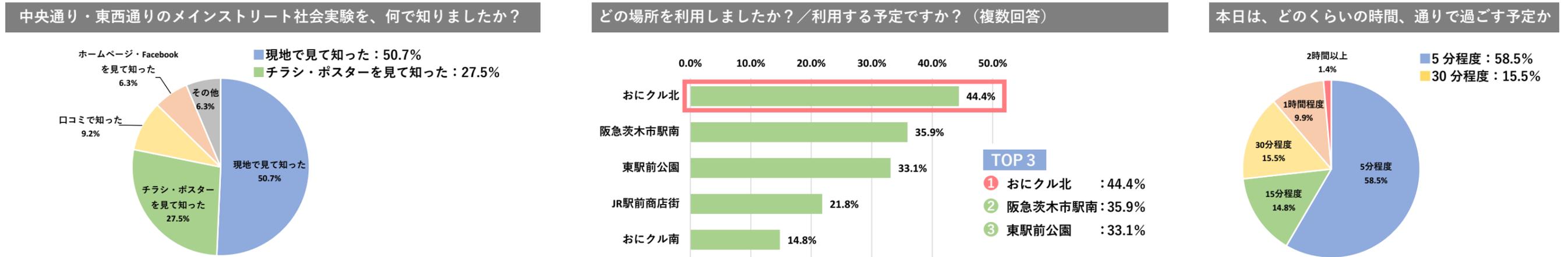
※いずれも7:00~9:00、11:00~13:00、17:00~19:00の合計値



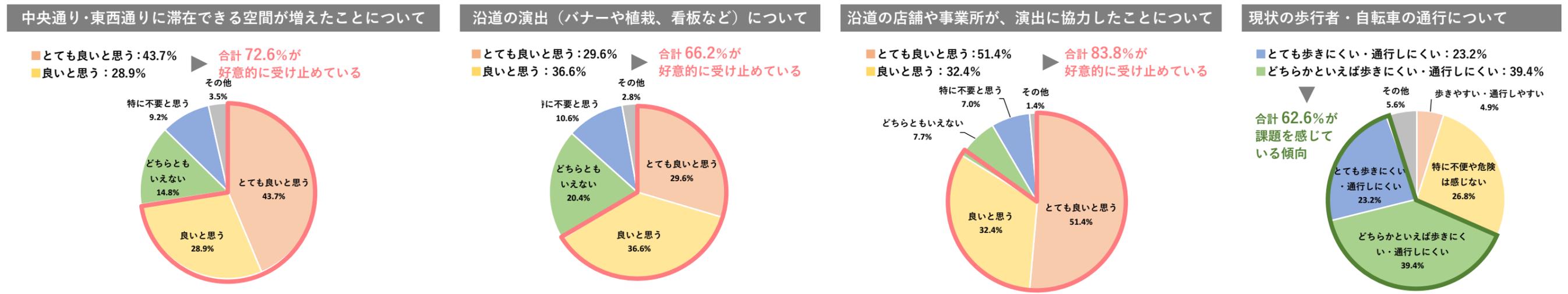
■ 来訪者 回答者属性 (N=142)



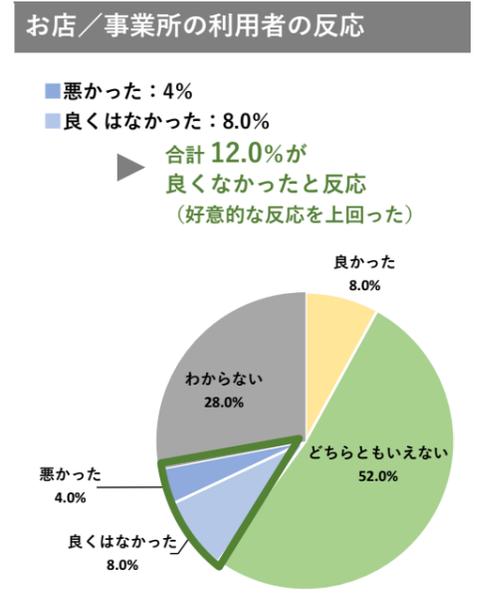
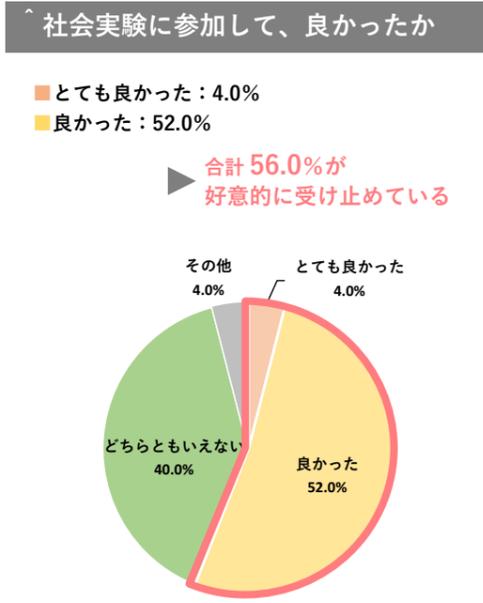
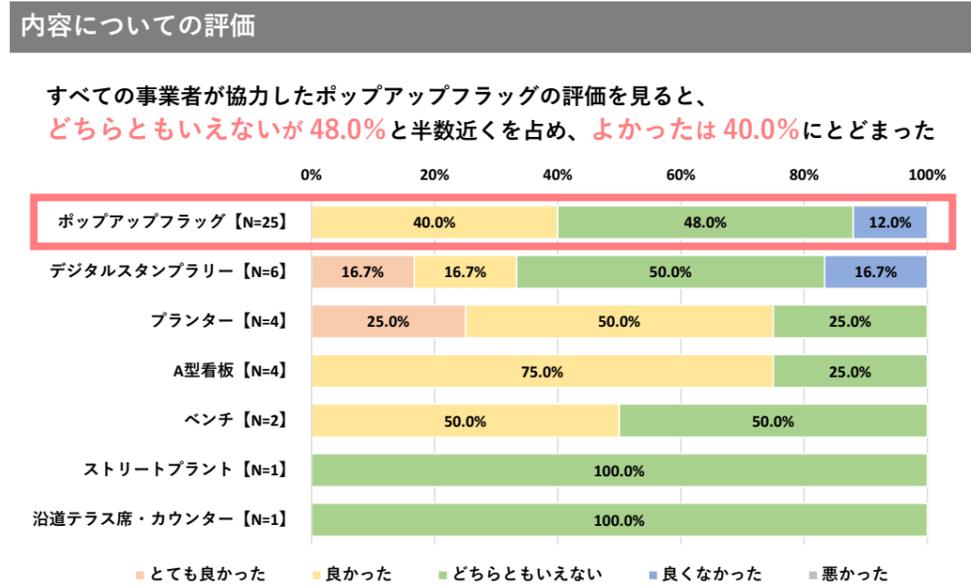
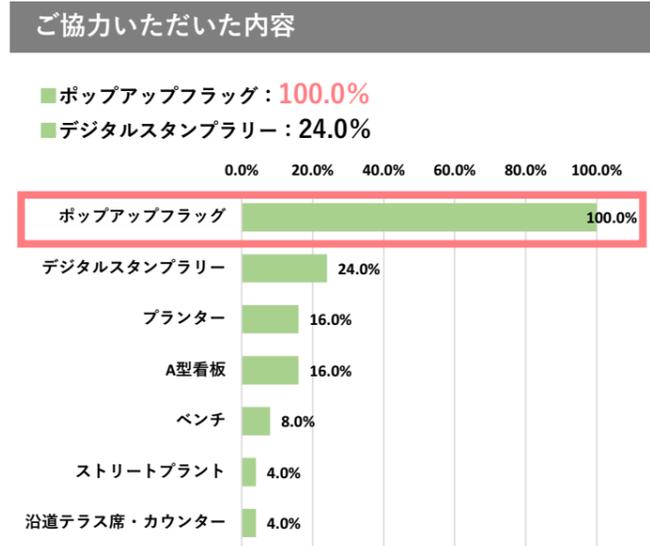
■ 社会実験全般について (N=142)



■ 来訪者からの具体的な意見 (N=142)

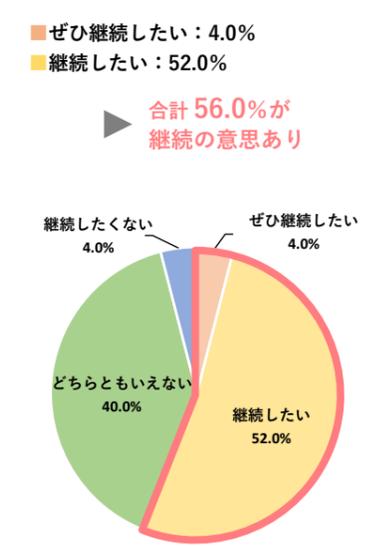


■ 社会実験全般について (N=25)



■ 今後のストリートデザインに向けて (N=25)

今回のようなポップアップフラッグやプランターの設置など、沿道の取組みを継続したいと思うか？
そのように回答された理由

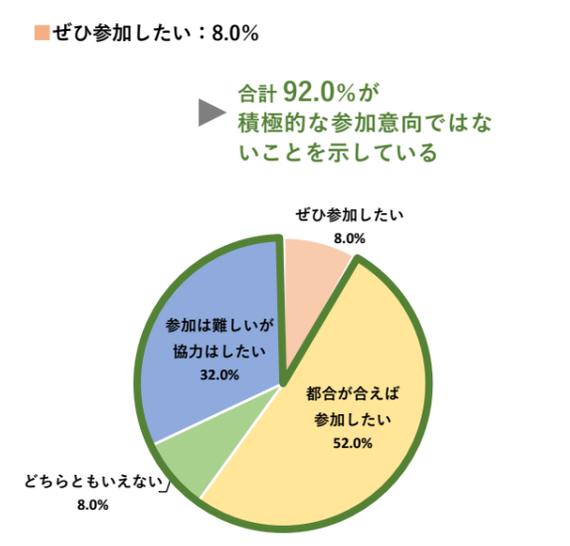


- 理由
- ぜひ継続したい**
- ・気持ち明るくなる
- 継続したい**
- ・客の反応が良かった
 - ・まちの活性化
 - ・通りの活性化
 - ・花がキレイ
 - ・華やかになる
 - ・市をあげて盛り上げようとしている
 - ・明るいイメージ
 - ・看板は目につくので自社の宣伝になる
 - ・統一感ある方がいいのでできる限り協力する
 - ・特にこちらでの管理が不必要
 - ・今回の取組にプラスアルファの取組が必要
- どちらともいえない**
- ・中途半端感が強かった
 - ・ポップアップフラッグは不要、全然目立たない
 - ・ポップアップフラッグの存在感がなかったので、店舗だけでなく通りに面した所にも沢山あれば継続しても良い
 - ・キッチンカーや演奏などなにが必要
 - ・お金を使うのなら自転車通行帯の整備や駐車駐輪場の整備に回したほうが良い
 - ・範囲を広げて欲しい
 - ・特に効果は感じられなかった
 - ・しても良いが、これで何か変わるか、と言われると不明
 - ・参加者は認知しているが、住人は周知されておらず分からないという雰囲気
- 継続したくない**
- ・市が管理するのであればいいが店舗などに管理を任せるのは労力が必要だった

メインストリートに面する公共空間（歩道、車道など）の活用に関して、やってみたいこと

- ・歩道の上の屋根が汚いので綺麗にしたい
- ・店の前にテラス席を設置して飲食できる
- ・イベントに伴う歩行者天国など
- ・自転車の利用者が多い茨木は、まず、自転車が安全に通る道を確保するのが大前提が必要。
- ・今回のベンチは、大きすぎて道幅を取りすぎる。とても危険であったと思う。座ってゆっくりする人よりも、不便な感じをうけた。道に沿って置けるデザインであれば良かった。
- ・そもそも歩道や車道が狭いのが問題。バスが曲がる際、待機している車が少しでも白い車線を超えていたら、曲がれないレベル。華やかにする、にぎやかにする、は良いと思うが、まず交通整理からではと思う。
- ・自転車用道路をつくってほしい

今回の社会実験の結果をふまえ、市では引き続き、沿道の皆さんと魅力的な沿道形成や活性化の取組みを話し合っていければと考えています。
そうした場に参加していきたいと思うか



■来訪者アンケート（N=142）

メインストリートのコンセプトについて、市民や沿道のみなさんとのワークショップを重ね、下記のように案をまとめていますが、あなたはどのように思われますか？

めざすべき将来コンセプト

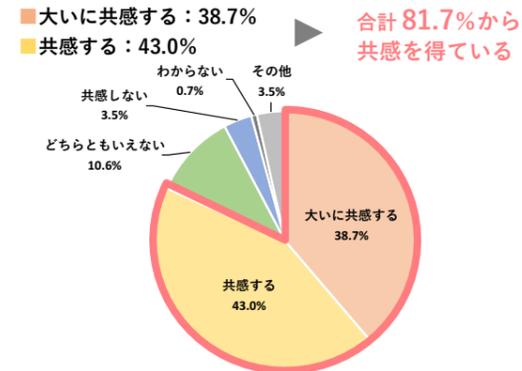
人が主役になり、まちの魅力を「次々」2つのメインストリート

市役所、新施設、広場などがある中心部と周縁をつなぐメインストリートとして、目的地へ向かう期待感や魅力的な雰囲気を感じる空間をデザインし、ストリートの魅力をまち全体に広げていく。

めざすべき将来像に基づくストリートイメージ

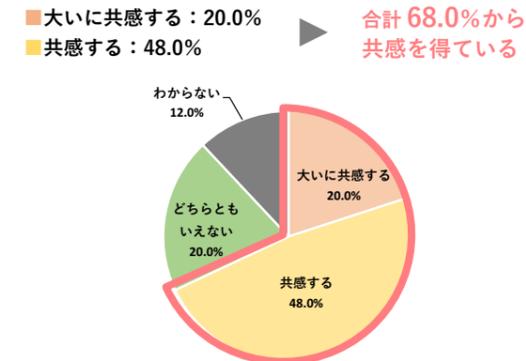
- 人と人との「ワン・コミュニケーション」を楽しめるストリート **スポットづくり 滞在空間**
- 沿道の賑わいや季節を感じ、「ワクワク」が高まる歩きたくなるストリート **通り全体での魅力的な空間づくり**
- まちなかの個性が伝わり、「ふらっと」歩き回りたくなるストリート **通りから まち全体へ**
- ゆったり並んで、安心・安全に歩きやすいストリート **安心・安全**

2人並んで歩いたり、子どもからお年寄りまで車や自転車を気にせず、安心して歩ける安全なストリート

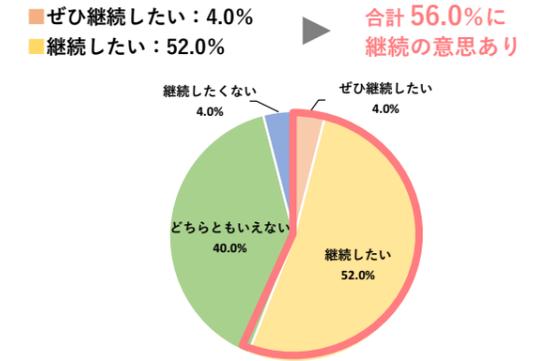


■事業者アンケート（N=25）

メインストリートのコンセプトについて、あなたはどう思われますか？



今回のようなポップアップフラッグやプランターの設置など、沿道の取組みを継続したいと思われますか？



中央通り

将来イメージ「にぎわいと交流を生む親しみやすい通り」について

大いに共感する：46.5%
共感する：36.6%
合計 83.1% から共感を得ている

わからない 0.7%
共感しない 1.4%
どちらともいえない 7.7%

「中央通り」をより魅力ある通りにするためにどんなことに取り組んでいくべきか（複数回答）

歩道を歩きやすくする：71.1%

ベンチなどの休憩施設やテラス席などの滞在空間を設ける 40.8%
歩いて楽しい通りとなるように軒先の活用や花などを充実させる 39.4%
道路のデザインを統一・洗練させたものにする 38.7%
沿道の建物のデザインを調和・洗練させたものにする 28.2%
街路樹や植栽などの緑を充実させる 21.8%
その他 19.0%

中央通り

将来イメージ「にぎわいと交流を生む親しみやすい通り」について

大いに共感する：28.0%
共感する：56.0%
合計 84.0% から共感を得ている

わからない 0.0%
共感しない 0.0%
どちらともいえない 16.0%

「中央通り」をより魅力ある通りにするためにどんなことに取り組んでいくべきか（複数回答）

歩道を歩きやすくする：72.0%

道路のデザインを統一・洗練させたものにする 56.0%
歩いて楽しい通りとなるように軒先の活用や花などを充実させる 36.0%
ベンチなどの休憩施設やテラス席などの滞在空間を設ける 28.0%
街路樹や植栽などの緑を充実させる 20.0%
沿道の建物のデザインを調和・洗練させたものにする 16.0%
その他 12.0%

東西通り

将来イメージ「身近に潤いを感じる良質で落ち着いたある通り」について

大いに共感する：45.1%
共感する：40.8%
合計 85.9% から共感を得ている

わからない 2.1%
共感しない 2.8%
どちらともいえない 7.0%

「東西通り」をより魅力ある通りにするためにどんなことに取り組んでいくべきか（複数回答）

歩道を歩きやすくする：70.4%

歩いて楽しい通りとなるように軒先の活用や花などを充実させる 43.7%
ベンチなどの休憩施設やテラス席などの滞在空間を設ける 39.4%
道路のデザインを統一・洗練させたものにする 34.5%
街路樹や植栽などの緑を充実させる 32.4%
沿道の建物のデザインを調和・洗練させたものにする 26.8%
その他 15.5%

東西通り

将来イメージ「身近に潤いを感じる良質で落ち着いたある通り」について

大いに共感する：32.0%
共感する：52.0%
合計 84.0% から共感を得ている

わからない 0.0%
共感しない 0.0%
どちらともいえない 16.0%

「東西通り」をより魅力ある通りにするためにどんなことに取り組んでいくべきか（複数回答）

歩道を歩きやすくする：72.0%

歩いて楽しい通りとなるように軒先の活用や花などを充実させる 44.0%
道路のデザインを統一・洗練させたものにする 36.0%
街路樹や植栽などの緑を充実させる 32.0%
ベンチなどの休憩施設やテラス席などの滞在空間を設ける 28.0%
沿道の建物のデザインを調和・洗練させたものにする 8.0%
その他 4.0%

茨木のメインストリートとしてふさわしい、より良い道路・歩道にしていくために（複数回答）

歩行者や自転車が安全に通行できるように、一方通行化などの道路構成の変化や自動車・自転車の通行を見直す：68.3%

洗練されたデザインとなるように道路・歩道を整備する 50.0%
滞留や休憩ができる空間となるように道路・歩道にベンチやテラス席などを整備する 31.7%
沿道の建物や軒先が通りに開かれた形となるようにルール等で誘導する 30.3%
潤いある空間となるように緑を充実させる 24.6%
通りの一体感を出すパナール、周りにの回遊を促すサインを整備する 21.1%
その他 13.4%

行政に期待すること

滞留や休憩ができる空間となるように軒先を活用する（ベンチ、テラス席など）：49.3%

沿道店舗が連携・協力して一体的な取り組みができる組織を創る 48.6%
沿道の建物が通りに開かれた形となるように軒先のデザインなどを工夫する 43.0%
沿道店舗が連携・協力してパナールやフラッグなど一体感のある演出やイベントを行う 33.8%
軒先のプランターなどで緑や花を充実させる 25.4%
その他 11.3%

沿道・民間事業者に期待すること

茨木のメインストリートとしてふさわしい、より良い道路・歩道にしていくために（複数回答）

洗練されたデザインとなるように道路・歩道を整備する：52.0%

歩行者や自転車が安全に通行できるように、一方通行化などの道路構成の変化や自動車・自転車の通行を見直す：52.0%

販売や事業に役立つ情報を届ける 36.0%
滞留や休憩ができる空間となるように道路・歩道にベンチやテラス席などを整備する 32.0%
潤いある空間となるように緑を充実させる 32.0%
沿道事業者による活性化のまちづくりや組織化を支援する 28.0%
通りの一体感を出すパナール、周りにの回遊を促すサインを整備する 20.0%
沿道の建物や軒先が通りに開かれた形となるようにルール等で誘導する 4.0%
その他 4.0%

行政に期待すること

沿道店舗が連携・協力して一体的な取り組みができる組織を創る：44.0%

沿道の建物が通りに開かれた形となるように軒先のデザインなどを工夫する 40.0%
沿道店舗が連携・協力してパナールやフラッグなど一体感のある演出やイベントを行う 32.0%
軒先のプランターなどで緑や花を充実させる 32.0%
滞留や休憩ができる空間となるように軒先を活用する（ベンチ、テラス席など） 28.0%
その他 4.0%

沿道・民間事業者で何に取り組んでいくのがよいか